鈴鹿川水系　内外水統合型の浸水想定図（1/50規模降雨）
【現況河道】

1．説明文

（1）この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率1／ 50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1／50（2%））の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。

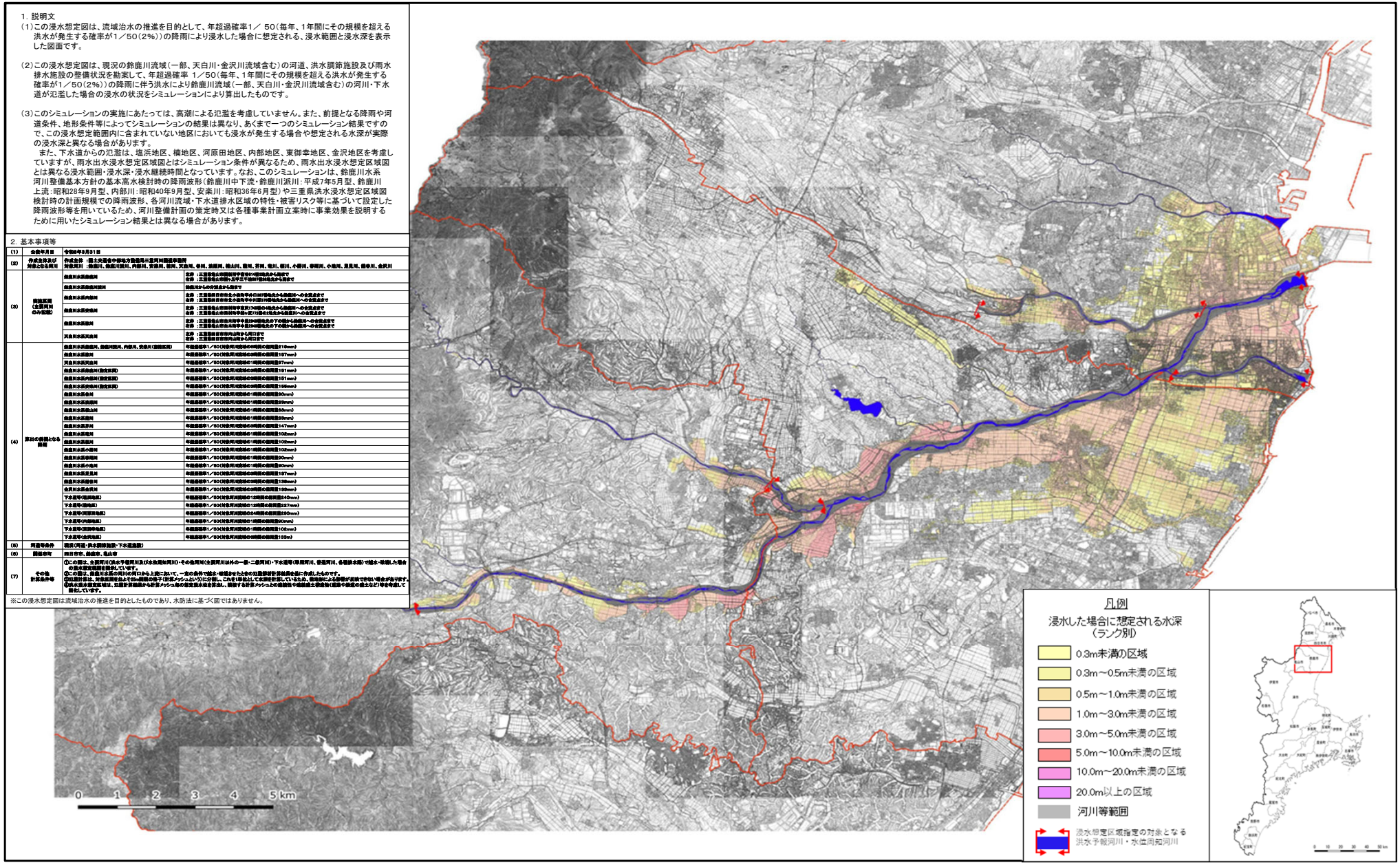
（2）この浸水想定図は、現況の鈴鹿川流域（一部、天白川・金沢川流域含む）の河道、洪水調節施設及び雨水排水施設の整備状況を勘案して、年超過確率 1／50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1／50（2%））の降雨に伴う洪水により鈴鹿川流域（一部、天白川・金沢川流域含む）の河川・下水道が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（3）このシミュレーションの実施にあたっては、高潮による氾濫を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定範囲内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
　また、下水道からの氾濫は、塩浜地区、楠地区、河原田地区、内部地区、東御幸地区、金沢地区を考慮していますが、雨水出水浸水想定区域図とはシミュレーション条件が異なるため、雨水出水浸水想定区域図とは異なる浸水範囲・浸水深・浸水継続時間となっています。なお、このシミュレーションは、鈴鹿川水系河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（鈴鹿川中下流・鈴鹿川派川：平成7年5月型、鈴鹿川上流：昭和28年9月型、内部川：昭和40年9月型、安楽川：昭和36年6月型）や三重県洪水浸水想定区域図検討時の計画規模での降雨波形、各河川流域・下水道排水区域の特性・被害リスク等に基づいて設定した降雨波形等を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2．基本事項等

（1）	公表年月日	令和3年3月31日	
（2）	作成年月日及び対象となる河川	作成年月日：令和3年度中部地方整備局三重河川国道事務所 対象河川：鈴鹿川、鈴鹿川派川、内部川、安楽川、朝明川、天白川、香川、法田川、稲山川、箕川、芳川、菰川、小野川、中野川、小梅川、長良川、鎌中川、金沢川	
（3）	現況河道（主要河川のみ記載）	鈴鹿川水系鈴鹿川	左岸：三重県亀山市関町新所字宮ヶ谷914番地先から海まで 右岸：三重県亀山市関町＋五十子字小林77番地先から海まで
		鈴鹿川水系鈴鹿川派川	鈴鹿川からの分流点から海まで
		鈴鹿川水系内部川	左岸：三重県鈴鹿市南玉垣町字石小田向字中ヒロ307番地先から鈴鹿川への合流点まで 右岸：三重県鈴鹿市南玉垣町字中川原2-3番地先から鈴鹿川への合流点まで
		鈴鹿川水系安楽川	左岸：三重県亀山市新所町字宮ヶ谷2179番地先から鈴鹿川への合流点まで 右岸：三重県亀山市新所町字宮ヶ谷277番地先から鈴鹿川への合流点まで
		鈴鹿川水系箕川	左岸：三重県亀山市白木町字中畑240番地先のT字合流から鈴鹿川への合流点まで 右岸：三重県亀山市白木町字中畑240番地先のT字合流から鈴鹿川への合流点まで
		天白川水系芳川	左岸：三重県鈴鹿市南中川町から鈴鹿川まで 右岸：三重県鈴鹿市南中川町から鈴鹿川まで
（4）	算出の前提となる降雨	鈴鹿川水系鈴鹿川、鈴鹿川派川、内部川、安楽川（個別設定）	年超過確率1／50(年間発生確率2%)相当の時間雨量119mm）
		鈴鹿川水系鈴鹿川	年超過確率1／50(年間発生確率2%)相当の時間雨量107mm）
		天白川水系天白川	年超過確率1／50(年間発生確率2%)相当の時間雨量97mm）
		鈴鹿川水系鈴鹿川（個別設定）	年超過確率1／50(年間発生確率2%)相当の時間雨量151mm）
		鈴鹿川水系内部川（個別設定）	年超過確率1／50(年間発生確率2%)相当の時間雨量151mm）
		鈴鹿川水系安楽川（個別設定）	年超過確率1／50(年間発生確率2%)相当の時間雨量159mm）
		鈴鹿川水系香川	年超過確率1／50(年間発生確率2%)相当の時間雨量80mm）
		鈴鹿川水系法田川	年超過確率1／50(年間発生確率2%)相当の時間雨量89mm）
		鈴鹿川水系稲山川	年超過確率1／50(年間発生確率2%)相当の時間雨量89mm）
		鈴鹿川水系箕川	年超過確率1／50(年間発生確率2%)相当の時間雨量89mm）
		鈴鹿川水系芳川	年超過確率1／50(年間発生確率2%)相当の時間雨量147mm）
		鈴鹿川水系菰川	年超過確率1／50(年間発生確率2%)相当の時間雨量102mm）
		鈴鹿川水系箕川	年超過確率1／50(年間発生確率2%)相当の時間雨量102mm）
		鈴鹿川水系小野川	年超過確率1／50(年間発生確率2%)相当の時間雨量102mm）
		鈴鹿川水系中野川	年超過確率1／50(年間発生確率2%)相当の時間雨量80mm）
		鈴鹿川水系小梅川	年超過確率1／50(年間発生確率2%)相当の時間雨量80mm）
		鈴鹿川水系長良川	年超過確率1／50(年間発生確率2%)相当の時間雨量187mm）
		鈴鹿川水系鎌中川	年超過確率1／50(年間発生確率2%)相当の時間雨量159mm）
		金沢川水系金沢川	年超過確率1／50(年間発生確率2%)相当の時間雨量159mm）
		下水道等(塩浜地区)	年超過確率1／50(年間発生確率2%)相当の時間雨量240mm）
		下水道等(楠地区)	年超過確率1／50(年間発生確率2%)相当の時間雨量227mm）
		下水道等(河原田地区)	年超過確率1／50(年間発生確率2%)相当の時間雨量290mm）
		下水道等(内部地区)	年超過確率1／50(年間発生確率2%)相当の時間雨量90mm）
		下水道等(東御幸地区)	年超過確率1／50(年間発生確率2%)相当の時間雨量106mm）
		下水道等(金沢地区)	年超過確率1／50(年間発生確率2%)相当の時間雨量139mm）
（5）	河道等条件	現況（河道・洪水調節施設・下水道施設）	
（6）	開催年月	令和3年度	
（7）	その他計算条件等	①この図は、主要河川（洪水予報河川及び水位周知河川）・その他河川（主要河川以外の一級・二級河川）・下水道等（雨水河川、香港河川、各種排水路）で越水・破堤した場合の浸水想定範囲を表示しています。 ②この図は、鈴鹿川水系の河川の河口から上流において、一定の条件で越水・破堤をさせたときの氾濫解析を実施した結果に作成したものです。 ③氾濫計算は、対象区間を出来るだけ1mの格子（計算メッシュという）に分割し、これを1単位として氾濫解析を行っているため、実地盤の土地形状を反映できない場合があります。 ④雨水出水浸水想定区域は、氾濫計算範囲から計算メッシュ内の標高値や施設諸元（道路や排水路の底土など）等を考慮して細化しています。	

※この浸水想定図は流域治水の推進を目的としたものであり、水防法に基づく図ではありません。



この地図の作成に当たっては、三重県市町総合事務組合管理者の承認を得て、同組合発行の「2017三重県共有デジタル地図」を使用した。（承認番号 三総合地第１４号）